

寝屋川市立梅が丘小学校の教育活動

令和5年5月1日現在

寝屋川市立梅が丘小学校	校長名 山 崎 淳
住所 〒572-0803 寝屋川市梅が丘2丁目10番1号	電話 072-825-9005 FAX 072-823-3145

学級数、在籍数

学 年	1	2	3	4	5	6	支援	計	
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16	
児童数	男	15	15	30	18	24	25	16	143
	女	24	29	31	18	35	34	4	175
生徒数	計	39	44	61	36	59	59	20	318

教育方針 教育目標

◆教育目標 『豊かな心を持ち、自主的に活動できる児童の育成』
 <めざす学園生像> 『自ら学び 共に創る 学園生』
 <めざす子ども像> ①思いやりのある子 ②よく考える子 ③がんばる子

◆研究目標 『一人ひとりの子どもが主体的に参加し、互いに高め合う授業づくり』
 ～子どもの伸びようとする芽を育てよう～

◆教育方針

近年、AIなどに代表される急速な技術革新やグローバルの進展により、社会の変化を予測することが難しくなっており、正しい情報を取捨選択し、活用していくことが必要な社会となっている。こうした中で、**子どもたちが自らの人生を切り拓き、それぞれの夢に向かって豊かに、たくましく生き抜いていく力を育てていくこと**が重要である。

寝屋川市においては今年度より、全市的な小中一貫校へと移行するとともに、全中学校区にコミュニティスクールを導入し、保護者・地域・学校が、小中9年間のビジョンを共有し連携を密にしながら、子どもたちの豊かな成長を支えていくことで、これまで推進してきた小中一貫教育の成果と課題等を踏まえた、次なる小中一貫教育を進めていくこととなる。

本校においても、これまで進めてきた教育の成果を生かしつつ、寝屋川市教育大綱の趣旨のもと、「考える力」の確立と特色ある「寝屋川教育」の確立を柱とした取組を進めていくとともに、教育大綱の趣旨を踏まえ、「寝屋川だから学べる」の基本理念のもと、「考える力」の確立と特色ある「寝屋川教育」の確立を大きな柱とし、取組を進めていくことが重要であると考え。その中で、「考える力」の育成については、「ディベート教育」を通じて、論理的思考や問題解決能力、情報選択能力等を養うとともに、道

徳教育などを通して、他人を思いやる心や豊かな人間性を醸成していく。そしてまた、「考える力」をベースに、寝屋川方式の学習法（ねやがわスタンダード）を通して、基礎から発展につながる「学力」と、様々な理論に基づき鍛えあげる「体力」等を確実に身に付けさせる。さらには、やり抜く力・あきらめない心・しがみつ়く力などの「非認知能力」についても着実に育成していく中で、子どもたちが自ら人生を切り拓き、夢に向かってたくましく生き抜く力を丁寧に育てていくことを今年度の基本方針とする。

さらには、「学校力」「教師力」をさらに高め、すべての子どもたちが、生き生きと学ぶことのできる環境を確立するために、地域性と多様性を大切にしながら進めてきたこれまでの成果を基盤として、本校の教育をより一層発展させていくことが必要である。

これまで本校が培ってきた良き伝統・種々の取り組みを基礎に、さらに磨きをかけ、本校独自の「教育システム」の構築をめざす中で、「考える力を身に付けた たくましく生き抜く子」を育成していく。

① 真実を追求する子どもの育成

すべての子どもに確かな学力を保障するとともに、一人ひとりの個性を伸ばし、自主的・主体的に行動することを通して真実を追求していく姿勢を育てる。

② 人権教育の実践

人権を尊重する社会の一員として、互いに相手の立場を理解して友好関係を保つ意識を育む。そのために計画的・組織的な研究体制の中で、子どもと教師が常に自分を変えていこうとするような実践を積み重ねる。

③ 高め合う集団づくり

あらゆる教科・領域・行事等の中で一人ひとりの子どもの生活・経験を掘り起こし、自分の願いを追求するためには仲間の支えが大切であることを学ばせ、個々が認め合い、互いに高め合おうとする集団づくりをめざす。

④ 学園・家庭・地域との連携強化

小中一貫教育を柱に学園3校の連携を推進し、信頼と安心に満ちた学園づくりをめざす。同時に家庭・地域とも連携を強化し、願いに応え信頼関係を強める中で、心身ともに、子どもの健やかな成長を育む「教育コミュニティ」化を進める。

特色ある教育活動

「共に誇りうる校区環境・学園・学校づくり」

① 将来、力強く社会を「生き抜く力」のベースとなる「考える力」を育む授業づくり

- ・ディベート教育を通しての客観的・多角的・批判的に見る力、話し合う力の育成
- ・物事を論理的に考える力である「プログラミング的思考」の育成
- ・研究授業、学園公開授業等、公開授業と実践研究の積極的实施
- ・「めあて」「ふりかえり」カードや映像を活用した分かる授業の展開
- ・「学びの型(聞型・話型・書型)」の共有による一貫指導の充実
- ・自主・自律につなげる「ノーチャイム制」の実施
- ・多様なグループ(分割・合同など)による柔軟な授業の実施

② 地域・保護者の願いが具現化する安定した『信頼と安心』の校区づくり

- ・地域版学校便り「スマイル」、学園行事カレンダー全戸配布(約2600戸)による情報提供
- ・土曜参観の実施、学校運営協議会、学園PTA行事の実施
- ・地域・社会活動への児童の参加(大阪メチャハッピー祭、校区福祉まつりなど)

主な行事（月）

入学式（4月）	プール開き（6月）
林間学舎（6月）	水泳教室（7月）
学園夏季合同研修会（8月）	
修学旅行（9月）	運動会（10月）
鑑賞会（10月）	学園交流公開授業（6, 10, 11月）
土曜参観（11月）	
作品展（2月）	マラソン大会（2月）
6年生を送る会（3月）	卒業式（3月）

標準服など（例）

特に指定なし

日課

授業時間数

校時	時間帯	学年	月	火	水	木	金	計
朝の会	8:30~8:50	1	5	5	5	5	5	25
朝学習		2	5	5	5	5	6	26
第1時限	8:50~9:35	3	5	6	5	6	6	28
第2時限	9:40~10:25	4	6	6	5	6	6	29
中休み	10:25~10:50	5	6	6	5	6	6	29
第3時限	10:50~11:35	6	6	6	5	6	6	29
第4時限	11:40~12:25							
給食	12:25~13:10							
昼休み	13:10~13:30							
清掃・移動	13:30~13:50							
第5時限	13:55~14:40							
第6時限	14:45~15:30							

・その他、45分（50分）単位以外の授業や帯時間等

8:35~8:50

朝学習（月・火・木・金）、読書（水）